

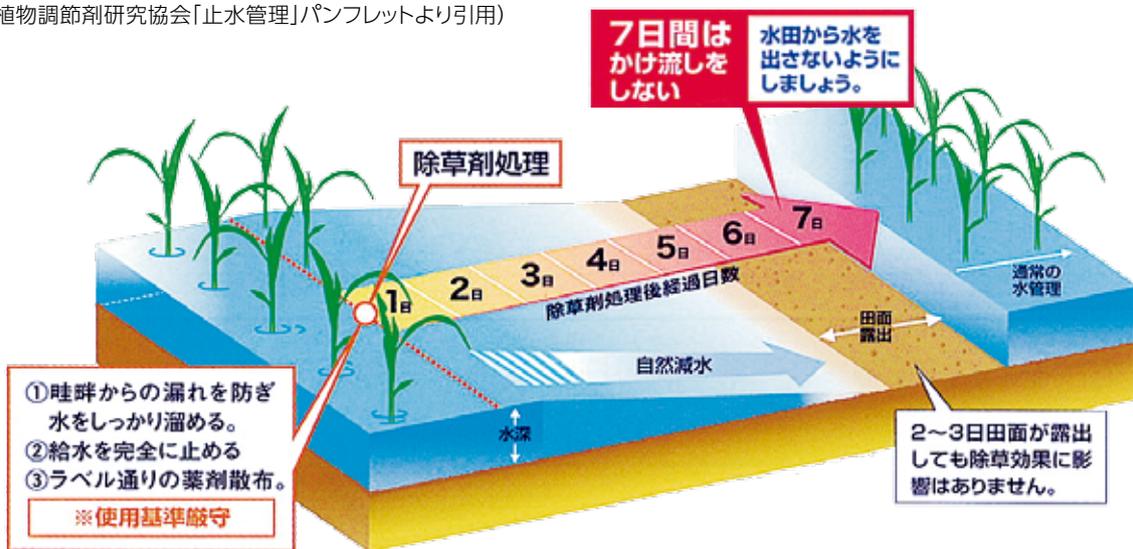
除草剤の散布後は、水田に散布された除草剤が土壌面に被膜を作るため、散布時や散布以降の水管理が重要となります。

- ① 散布時の水深は5cm以上。特に、ジャンボ剤・フロアブル剤は必ず5～6cmの湛水状態を保ってください。
- ② 藻・浮草が発生していると、拡散が不十分となり効果が劣ることがありますので、使用時期の範囲内で早めに散布してください。
- ③ 水口、水尻をしっかり止めて、散布後は少なくとも7日間はそのまま湛水を保ち、落水・掛け流しはしないでください。



## 「除草剤処理後7日間給水しない止水管理」の模式図

(日本植物調節剤研究協会「止水管理」パンフレットより引用)



## 還元障害の症状と対策(やみ田)

早期の対応が生育・品質改善の第一歩です！



### 軽い症状

- 下葉が黄色くなります。
- 分けつが遅くなります。
- 色が出ません。

- 軽く干します。(5日程度で色が出ます)
- 干しても回復がみられない場合は、硫酸マグネシウムやマルチサポート2号を10a当たり20kg施用します。

### 重い症状

- 全く分けつしません。
- 下葉に赤い斑点があります。
- 根張りが悪くなります。

- 溝切り(こじわり)を行い、数日間落水して、田面を干します。
- 硫酸マグネシウムやマルチサポート2号を10a当たり20kg施用します。



滋賀県は

**見直そう!農業機械作業の安全対策**  
5月31日(火)まで春の農作業安全運動月間です。